

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

真田地域自治センター

【令和元年度重点目標】

| 重点目標 | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
|------|---|--|--|
| 重点目標 | ラグビーワールドカップ2019を契機とした「ラグビー合宿の聖地 菅平高原」の魅力の発信 | | |
| 1 | <p>① イタリア代表チームのトレーニングキャンプを歓迎する意識の醸成</p> <p>(1) 真田町商工会などが行う歓迎事業への支援</p> <p>(2) ラグビーワールドカップ日本大会の応援情報の発信</p> <p>(3) 菅平線のバスを利用したラグビーワールドカップ日本大会等のPR</p> <p>(4) 真田図書館にラグビーワールドカップ日本大会等の特設コーナーを設置</p> <p>(5) タグラグビー・タッチラグビー講習会の開催</p> <p>② ラグビーイタリア代表チームを迎えるための練習環境の整備</p> <p>(1) 主会場となるサニアパーク菅平のフィールドコンディションの向上</p> <p>(2) 菅平高原アリーナでの受入体制の充実</p> | <p>①</p> <p>(1) 「そばパスタ」提供「のぼり旗」掲出等(11月まで)</p> <p>(2) 市民ホール等でのビデオ放映やセンターだより、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信(11月まで)</p> <p>(3) ポスター掲出、乗車記念品配布(期間、数量限定)(5月～11月)</p> <p>(4) ラグビー競技や日本・イタリア代表チーム、イタリア国に關係する図書の特設コーナーの設置(7月～11月)</p> <p>(5) タグラグビー(11月まで)タッチラグビー(8月まで)の講習会を各1回開催</p> <p>②</p> <p>(1) 計画的な整備(随時)と利用調整(事前及び期間中)</p> <p>(2) 利用調整(事前及び期間中)</p> | <p>①</p> <p>(1) 菅平高原の飲食店7店舗でそばパスタを提供 国道144号沿線及び自治センター敷地内にイタリア代表歓迎のぼり旗設置</p> <p>(2) 特設応援ブースの設置(自治センター、ゆきむら夢工房、サニアパーク菅平、菅平高原アリーナ)、応援情報の発信(センターだより、ホームページ、TV報道)</p> <p>(3) 5月から菅平線のバス車内にPRポスターを掲出し、利用者に乗車記念シールを配布中</p> <p>(4) ラグビー競技やラグビーワールドカップ日本大会、日本及びイタリア代表チーム、イタリア国関連図書の特設コーナーを、7月から毎月内容を更新しながら設置 ワールドカップ終了の11月まで継続設置予定</p> <p>(5) 真田公民館主催のタッチラグビー教室(6月30日 60人参加)、真田まつりではタッチラグビー日本代表による体験教室(8月3日 30人参加)を開催</p> <p>②</p> <p>(1) 5月初旬からメイン及びDグラウンドの播種などの環境整備を実施、9月11日公開練習、9月13日非公開練習が行われる</p> <p>(2) 9月9日にイタリア代表チームのトレーニング受入れ</p> |
| 重点目標 | 市民と行政が共に進める「参加と協働のまちづくり」 | | |
| 2 | <p>① 住民自治組織の運営基盤づくりへの支援</p> <p>(1) 関係部局との調整等、「まちづくり計画」策定への支援</p> <p>(2) 住民自治組織が取組む独自事業への支援</p> <p>② 「地域づくり委員会」との協働による 安全・快適なまちづくりの推進</p> <p>(1) まちづくりに活用できる情報の提供</p> <p>(2) 地域課題の共有</p> <p>(3) 協働による地域課題の解決に向けた取組</p> <p>③ 「協働のまちづくり」の気運の醸成に向けた取組</p> <p>(1) 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携</p> <p>(2) 地域づくり活動の積極的な周知</p> | <p>①</p> <p>(1) 計画策定(12月まで)</p> <p>(2) センターだより等で開催や活動状況を周知(年度内)</p> <p>②</p> <p>(1) 委員会等を活用した情報提供(8月まで)</p> <p>(2) 36委員会、住民自治組織及び行政での共有(1月まで)</p> <p>(3) 活動事例の紹介や支援策等の情報提供(年度内)</p> <p>③ (1) 地域づくり委員会を活用した情報の共有(8月まで)</p> <p>(2) 地域づくり委員会での情報提供やセンターだより等による広報(年度内)</p> | <p>①</p> <p>(1) まちづくり計画の策定に向け、行政情報の提供や相談、関係部局との調整等の支援に努め、9月末までに計画素案の策定が完了した</p> <p>(2) 「センターだより」や有線放送の告知放送を活用し、独自事業への参加の呼びかけや活動状況の周知を図った</p> <p>②</p> <p>(1) まちづくりや身近な生活での課題等に対する補助事業など、支援策の情報提供に努めた</p> <p>(2) 委員会でまとめられた地域課題や要望等について、担当課に対応を依頼するとともに、住民自治組織によるまちづくりにも資するための情報の共有を図った</p> <p>(3) 協働による地域課題の解決に向け、地域づくり委員会において自治会や団体等が取り組む地域づくり活動等の事例を紹介した</p> <p>③</p> <p>(1) 真田地域のまちづくりに係る情報共有を図るため、協働推進委員及び地域担当職員による「地域づくり委員会 地域担当者打合せ会議」を6月20日に開催した</p> <p>(2) 「協働のまちづくり」への気運の醸成を図るため、「地域づくり委員会」や「センターだより」において、地域活性化策や地域課題の解決に向けた取り組み事例を紹介した</p> |
| 重点目標 | 「菅平高原」ブランドを活かした更なる誘客の促進 | | |
| 3 | <p>① サニアパーク菅平のオープン20周年記念事業の開催</p> <p>(1) 実行委員会を組織し各種記念大会を開催</p> <p>(2) 恵まれた練習環境を積極的に情報発信</p> <p>② 菅平高原アリーナの利用促進</p> <p>(1) 繁忙期(7月～8月)の利活用と年間を通じた利用促進を図るため、「管理運営関係者会議」を設置</p> <p>(2) 利用者の安全性向上を図る施設整備</p> <p>③ 年間を通じた誘客を目指した活動への支援</p> <p>(1) 健康増進プログラムの提供を通じた誘客に取組む「菅平スポーツフィジカルセラピー協議会」への支援</p> | <p>① (1) 各種記念大会を開催(5月～10月)</p> <p>(2) センターだより、ホームページやSNSを活用した情報発信(10月まで)</p> <p>②</p> <p>(1) 会議の設置(5月まで) 会議の開催(随時)</p> <p>(2) ラバーマットをトレーニングルームに設置(7月まで)</p> <p>③</p> <p>(1) 地方創生推進交付金を活用した財政支援(年度内)</p> | <p>① (1) サニアパーク菅平20周年記念イベント実行委員会を組織し3種の記念大会を開催・サッカークリニック(6月16日 207人参加)・関東大学ラグビー菅平開幕戦(8月31日～9月1日観客数約5,800人)・上田陸上カーニバル(9月23日 540人参加)</p> <p>(2) センターだより(9月号)、ホームページ及び各種メディアを活用した情報発信</p> <p>②</p> <p>(1) 利用促進を図るため「菅平高原スポーツランド及び菅平高原アリーナ運営委員会」を設置し、5月15日に委員会開催</p> <p>(2) 利用者の安全性向上を図るため、ラバーマットを6月28日に設置</p> <p>③</p> <p>(1) 地方創生推進交付金を活用し事業実施する菅平スポーツフィジカルセラピー協議会へ5月に交付金の一部を交付し、誘客に向けた活動を支援</p> |
| 重点目標 | 地域を守る自主防災活動の推進 | | |
| 4 | <p>① 自主防災組織の育成</p> <p>(1) 自主防災組織のリーダーの役割及び避難勧告等発令時の対応等についての研修会開催</p> <p>② 防災訓練の実施</p> <p>(1) 危機管理防災課と連携し、上田市防災訓練(主会場)の実施</p> <p>(2) 自治会単位での防災訓練の実施を推進</p> <p>③ 災害時要援護者登録制度の充実</p> <p>(1) 自治会の防災訓練等に併せ、制度を活用した見廻り訓練等の推進</p> <p>(2) 住民支え合いマップの有効活用の検討</p> <p>(3) 更新作業の実施</p> | <p>①</p> <p>(1) 36自主防災組織を対象に開催(5月まで)</p> <p>②</p> <p>(1) 上田市防災訓練(主会場)の実施(8/31)</p> <p>(2) 過半数以上の自治会で実施(12月まで)</p> <p>③</p> <p>(1) 自治会長への説明(3回) 福祉推進委員への説明(2回)</p> <p>(2) 民生・児童委員での検討(3回)</p> <p>(3) 全自治会を対象に更新作業を実施(年度内)</p> | <p>①</p> <p>(1) 5月20日に自主防災組織のリーダーの役割や、避難勧告等発令時の対応等についての研修会を開催(36自治会中、32自治会が参加)</p> <p>②</p> <p>(1) 8月31日に上田市防災訓練(主会場)を真田運動公園で実施(35自治会から706名が参加)</p> <p>(2) 36自治会中35自治会で自治会単位の防災訓練が実施された</p> <p>③</p> <p>(1) 自治会長が出席する自主防災組織リーダー研修会(5月)及び地域づくり委員会(7月)において制度を活用した訓練の実施協力を周知</p> <p>(2) 住民支え合いマップの有効活用検討について9月12日に民生・児童委員協議会定例会を開催</p> <p>(3) 全自治会の一斉更新作業を8月より開始した(12月末に完了予定)</p> |

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

真田地域自治センター

【令和元年度重点目標】

| 重点目標 | 地域公共交通の存続に向けた利用の促進 | | |
|------|---|---|--|
| | 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 5 | <p>①公共交通の利用促進に向けた広報活動 (1) 地域住民へのPR活動 (2) 学生等への利用促進の啓発</p> <p>②バス利用促進のための各種イベントの開催 (1) セタバス、真田まつりでのバス乗車体験、定期券・回数券特別斡旋企画・クリスマスイベント、ギャラリーバス（絵画・写真等の車内展示）等</p> <p>③真田地域公共交通利用促進協議会の運営 (1) 役員会及び総会の開催 (2) 利用促進に向けた調査、研究</p> | <p>① (1) 地域づくり委員会(7月) 自治会連絡会議(1月) 自治センターだより(5回掲載) (2) 高校生向けPR(3回) 首都圏学生向けPR(2回)</p> <p>② (1) 各種イベントの開催(随時)</p> <p>③ (1) 総会(6月)、役員会(随時) (2) 利用促進策の検討(年度内)</p> | <p>① (1) 利用促進情報について、7月開催の地域づくり委員会にてお知らせ事項として周知した。また、自治センターだより7月号・9月号に各種イベントの実施や運賃低減バス運行の継続について掲載した (2) 4月及び5月に高校生向けのPRを実施(2回)、7月12日に首都圏学生向けのPRを実施(1回)</p> <p>② (1) セタバス(7月7日～8月7日 120人利用)、真田まつりでバス乗車体験(8月3日 330人参加)、定期券・回数券の特別販売企画(9月14日～10月14日)を実施</p> <p>③ (1) 5月21日役員会、6月26日総会を開催 (2) 新たな利用促進策として菅平線の輸送人員増に向けて首都圏学生向けPRを7月12日に実施</p> |
| 重点目標 | 真田地域福祉関係施設における今後のあり方の検討 | | |
| 6 | <p>① 上田市真田地域活動支援センターの利用方法や運営体制の検討 (1) 利用方法や運営体制の検討 (2) 移行等の手続き調整</p> <p>② 上田市真田総合福祉センター等のあり方検討 (1) 内部協議の実施 (2) あり方検討会の組織化に向けた準備</p> | <p>① (1) 関係部署との協議(9月まで2回) (2) 関係部署との協議(年度内 随時)</p> <p>② (1) 関係部署との協議(年度内 2回) (2) 内部協議と併せて実施(年度内)</p> | <p>①(1)(2) ・利用者の減少、高齢化等の現状を踏まえ、地域内の社会福祉法人や利用者からの意見聴取を実施(4月) ・自治連地区会長や福祉関係団体代表者10名との同センターのあり方検討会を5月29日に開催 ・検討会の意見を踏まえ関係部署との協議を3回行い、問題点の整理と施設の利用方法や運営体制(案)を担当部署で作成した ・利用方法や運営体制について関係部署と協議</p> <p>②(1)(2) ・施設の老朽化、耐震性、周辺公共施設を含めた共用化について内部協議、あり方検討会等の組織化に向けた準備を進める</p> |

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]